

野方駅周辺を にぎわいの拠点に

自由民主党議員団 大内 しんご



野方駅の整備は、単に駅舎の建て替えと自由通路の建設だけではなく、今後の野方のまちづくりにおいて非常に重要である。これを契機に、野方駅周辺を中野の北部地域における「にぎわい」の拠点と位置づけ、まちづくりに取り組むべきではないか。



中野まつりでの物産展

区長 連続立体交差事業と一体になったまちづくりを進め、活力と魅力に満ちた地域として推進していきたい。

教育長 ①いじめを許さない環境が必要である。すべての子に指導する、総合的ないじめ対策を構築していきたい。

区長 ①いじめっ子・いじめられっ子・見てみぬふりの傍観者・面白がる観衆の4層構造を持つといういじめ集団に対し、どのように指導していくのか。

区長 ②撲滅には、家庭や学校など、すべての関係者が一体となり、取り組む必要がある。いじめを明確に認識しながら、地域での子育て支援に取り組むたい。

②「いじめゼロの中野の教育」などのスローガンを掲げ、区を挙げて「撲滅運動」を推

地域間交流を推進せよ

区長 ①区内の空き店舗の活用や、アンテナショップの協力などで、定期的・恒常的な市場を開き、区と交流のある各地の名産品をPRして人を呼ぶことで、地域振興に寄与していく提案をしたが、区は、どのように進めていくのか。②障害者や高齢者の雇用創出のため、事業者を募集し、支援していくべきでは。

区長 ①区商連など、区内の関係団体や交流先との協議の場を設け、準備していきたい。②具体的に検討を進めていきたい。

24時間ケア付きの 高齢者住宅を

無所属 佐藤 ひろこ



安心して地域で暮らし続けることは、誰もが願うことである。住宅会社と介護事業者が協働でつくる24時間ケア付きの高齢者住宅の誘導策を検討し、要介護高齢者が地域で暮らせる高齢者住宅の整備を進めるべきでは。

区長 24時間型の介護サービスなどの在宅支援サービスを地域に普及することで、高齢者の地域生活を保障し、住み続けられるための施策を充実していく。

区長 多言語での行政サービスは、今後より重要になってくると認識している。現在、国際化推進施策の検討を行っており、多文化共生社会の実現を目指していく。

多文化共生社会の推進を

日本に定住する外国人と共

八中か北中野中に 知的障がい学級の増設を

無所属 むとう 有子



04年、西中野小しらすぎ学級の卒業生が、地域の中学で

ペプシノゲン検査を見直せ

①学校再編で学校としての機能がなくなる13校の区立小中学校跡地は、災害時の避難所として確保されるのか。②学校跡地の活用は、単独ではなく、公共施設全般の再編・再配置とともに検討し、住民の声を反映するマスタープランを策定すべきでは。

区長 ①地域の実情に応じて、個別に検討している。②区有施設の再編や地域課題の解決などの検討と併せ、区民の意見も受け止めていく。

区外に向けて 積極的な情報発信を

無所属 いながき じゅん子



円滑な区政運営を行うには、区民と行政との信頼関係が重要であり、両者をつなぐ広報の役割は大きい。また、中野の良さをより多くの人々に知ってもらうために、マスコミなどを活用した対外的な広報活動も重要と考えるがどうか。

区長 区の施策や情報を区民に正確に伝えるには、外部の情報媒体への適切な情報提供が重要である。18年8月から定例区長記者会見を行い、報道機関への情報提供の機会を増やすなど工夫している。今後も効果的なパブリシティ

区長 指摘については、改善が必要と考えている。今後も、使いやすく、見やすいものに改善していきたい。

学校跡地活用策に 地域住民の声を生かせ

無所属 林 まさみ



①学校再編で学校としての機能がなくなる13校の区立小中学校跡地は、災害時の避難所として確保されるのか。②学校跡地の活用は、単独ではなく、公共施設全般の再編・再配置とともに検討し、住民の声を反映するマスタープランを策定すべきでは。

区長 ①業務執行能力や予定価格について、過去の業務実績や他自治体での契約内容、契約額などを調査し適正に審査している。②まちづくり勉強会などの場の設定や運営の補助などを委託している。

を改めます。

●中野区立少年自然の家条例の一部を改正する条例
施設の使用料の額を改めます。

●中野区立体育館条例の一部を改正する条例
競技場、トレーニング場、会議室、プールなどの利用料金の限度額を改めます。

●中野区もみじ山文化の森施設条例の一部を改正する条例
ホール、リハーサル室、多目的練習室、展示ギャラリー、学習室などの利用料金の限度額を改めます。

●中野区民ホール及び芸能小劇場条例の一部を改正する条例
区民ホールおよび芸能小劇場の利用料金の限度額を改めます。

●特別区道路線の認定について(白鷺二丁目600〜660番)
特別区道の路線を認定します。

●平成19年度中野区一般会計補正予算(第4次)
繰越明許費に区立学校17校の体育館耐震補強の設計委託費7700万6千円を追加計上し、翌年度に繰越します。

●意見書(1件・次項に掲載)

●議員提出議案

●意見書(1件・次項に掲載)

●議員提出議案

●意見書(1件・次項に掲載)

●議員提出議案

●意見書(1件・次項に掲載)

●議員提出議案

●意見書(1件・次項に掲載)

●議員提出議案

●意見書(1件・次項に掲載)

●議員提出議案

●意見書(1件・次項に掲載)

●議員提出議案

●意見書(1件・次項に掲載)

●議員提出議案

●意見書(1件・次項に掲載)

●議員提出議案

●意見書(1件・次項に掲載)

●議員提出議案

●意見書(1件・次項に掲載)

第4回定例会 可決した意見書

●中野区3年生までの医療費無料化のすみやかな実施を求める意見書
少子化の背景には、子育てにかかる経済的な負担の重さがあります。子育て世代にとって、「子育て費用の助成」を行政に求める声は、中野区が行なった「子育て支援アンケート」のなかでも最も多いものとなっています。また、子どもが病気がなかったとき医療費の心配がないようにしてほしいとの声は切実です。本区では、今年10月から3年生までの無料化を実施しています。制度としての持続可能性を高め、子育て世代の要

望にこたえるためには、中学3年生までの無料化に要する財源が安定的に確保されなければなりません。自治体の子育て施策の多様化と拡充のためには、東京都における財源保障への取り組みが不可欠です。よって、中野区議会は、東京都に対して、中学3年生までの医療費の無料化の財源を保障することを求めます。
(東京都知事あて)

区議会だよりは各戸配布しています
区議会だよりは、各戸配布により区民のみならず、お手元にお届けしています。
また、区施設や駅の広報スタンドなどでも手に入れることができます。ご利用ください。
【問合せ】区議会事務局 電話3228-5585

